

カスパーゼ-8

Cat. No. EXWM-4237

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 カスパーゼ-8は、カスパーゼ-2 (EC 3.4.22.55)、カスパーゼ-9 (EC 3.4.22.62)、およびカスパーゼ-10 (EC 3.4.22.63) と同様に、イニシエーターカスパーゼです。カスパーゼ-8は、死受容体のリガンド結合によって引き起こされる外因性（死受容体）アポトーシス経路の頂点の活性化因子です。N末端の前ドメインには2つのタンDEM死エフェクタードメイン（DED）が含まれており、これらはプロカスパーゼの活性化に関与しています。この酵素は、Fasのような細胞表面の死受容体に関連しています。FasがFasリガンドによって集積されると、プロカスパーゼ-8が死受容体にリクルートされ、そこで活性化されます。この酵素はP3でGluを好み、P1'位置ではGly、Ser、Alaのような小さな残基を好みます。P4特異性は非常に広く、この位置にAsp、Val、またはLeuを持つ基質を許容します。カスパーゼ-8の内因性基質には、プロカスパーゼ-3、プロアポトーシスBcl-2ファミリーのメンバーBid、RIP、PAK2、およびカスパーゼ-8活性調節因子FLIPLが含まれます。ペプチダーゼファミリーC14に属します。

別名 FLICE、FADD/CICE; MACH; MORT1関連CED-3ホモログ; Mch5; 哺乳類Ced-3ホモログ5; CASP-8; ICE/Aポトーシスプロテアーゼ5; FADD相同ICE/CED-3/Aポトーシスプロテアーゼ; アポトーシスシステインプロテアーゼ; アポトーシスプロテアーゼMch-5; CAP4

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 3.4.22.61

CAS登録番号 179241-78-2

反応 P1の位置におけるAspの厳格な要件があり、好ましい切断配列は(Leu/Asp/Val)-Glu-Thr-Asp↓(Gly/Ser/Ala)です。

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。